

## 平成 22 年度中間決算の概要

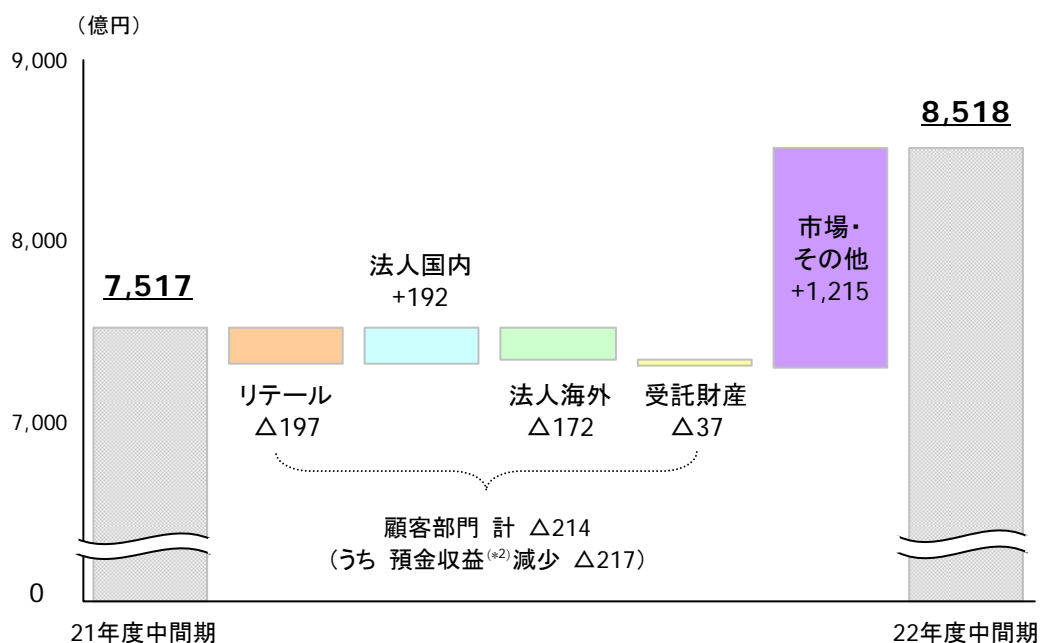
## 主要計数

(単位:億円)	22 年度中間期	21 年度中間期	増減
業務粗利益(信託勘定償却前)	18,707	18,132	574
営業費(△)	10,188	10,614	△426
実質業務純益	8,518	7,517	1,000
与信関係費用(△)	1,904	4,442	△2,538
株式等関係損益	△273	133	△407
経常利益	5,420	2,330	3,090
連結中間純利益	3,567	1,409	2,158
与信関係費用総額(△) <sup>(*)</sup>	1,867	4,442	△2,574

<sup>(\*)</sup> 尚、22 年度中間期の与信関係費用総額(含む償却債権取立益)は 1,530 億円(前年同期比△2,663 億円)

## 部門別収益の状況

市場金利の低下等、顧客部門には厳しい環境が続く中、市場部門が金利低下局面を的確に捉えた機動的なオペレーション等により大幅な増益を計上。  
 全社レベルでの継続的な経費削減も奏功し、実質業務純益は、前年同期比 1,000 億円増加の 8,518 億円となった。

[実質業務純益 増減内訳<sup>(\*)</sup>]

<sup>(\*)</sup> 部門別増減の内訳は管理ベース

<sup>(\*)</sup> 預金収益(管理ベース)は2行合算ベース

## 平成 22 年度中間決算の概要

### 連結自己資本比率

	22 年度中間期末	21 年度末	増減
自己資本比率	15.24%	14.87%	0.37%
Tier1 比率	11.57%	10.63%	0.93%

### 22 年度業績目標・配当予想

(単位:億円)	22 年度	中間期実績	21 年度実績	中間期実績
連結当期(中間)純利益	5,000	3,567	3,887	1,409
普通株式配当/株	年間 12 円	中間 6 円	年間 12 円	中間 6 円

### 中期経営計画の後半に向けて

◇ 「経営基盤の再構築」から「持続的な成長」へ

- 22 年下期は中期経営計画達成に向けた“要”の期。  
“守りから攻めへのギアチェンジ”を加速し、更なる収益拡大を図る。
- 海外業務や CIB 戦略を中心とした重点事業領域を更に深化・拡大。  
総合金融グループの強みを最大限に発揮し、お客さまに実感頂けるグループ  
シナジーを追求する。

◇ バーゼルⅢに向けた対応強化

- 利益水準の底上げによる内部留保蓄積と効率的な資本運営の実施により、新基準  
においても十分な資本を確保し、強固な財務基盤を堅持する。

以上

本資料には、当社または当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。